



牡幼だより

第7号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～元気を取り戻した朝顔～



参加者38名が一つの「わ」に

9月23日（土）に牡丹山小学校の体育館を会場に、牡丹山幼稚園の53回目の運動会「あそびんぴっく」を開催しました。

今年度、たけ組3名です。牡丹山幼稚園の最後の「あそびんぴっく」を心に残るものにしたと考え、参加者を園児と昨年度修了した現1年生、そのご家族とし、総勢38人の全員参加型としました。

「あそびんぴっく」当日に参加者が初めて揃うことになるため、たけ組の3人は、おうちの方や1年生と一緒にやりたいことを考え、遊びながら必要なものを準備してきました。ちょうど給食後に牡丹山小学校の子どもたちが遊びにきてくれるので、3人は自分たちが考えたことを小学生と一緒に遊びながら、「あそびんぴっく」を心待ちにしていました。

特に、「よさこい」の踊りは、修了生の子どもたちはもちろんですが初めて踊るとい小学生も鳴子を持って、園児3人の動きを見本に踊ります。「やー」「どっこいしょ」というかけ声も迫力満点。当日の「よさこい」では、全員がねじり鉢巻きを身に付け、最後の決めポーズも威勢よく決まりました。

また、借り物競争『思い出の牡丹山幼稚園』では、まず幼稚園の当番活動でしてきた雑巾がけをします。（未就園さんは雑巾がけの代わりにかけっこをする予定でしたが、雑巾がけを「やりたい」とのこと。上手に雑巾がけをする姿が微笑ましかったです。）その次にカードを引き、そこに書いてある文字と幼稚園の思い出を映した写真を合わせて借りるという競技です。代々の子どもたちがふれてきた生き物や木の実の写真に、一目見ただけでは区別がつかないひと工夫を施しました。写真を見比べたりきょうだいの子どものに聞いたりして、幼稚園の一年を振り返る牡丹山幼稚園ならではの内容になりました。

プログラムの参加者の欄には「できる人全員」と示してあります。小学生も保護者も祖父母の皆さんも参加者全員が思いきり体を動かして、笑顔いっぱいの「あそびんぴっく」となりました。



体育館を雑巾がけ

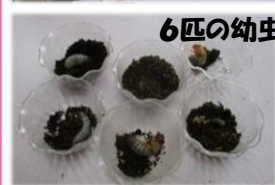


「描きたい!」と思うとき・・・

牡丹山小学校の校長先生から分けてもらったカブトムシ3匹を、子どもたちは大切に育ててきました。1匹が動かなくなったとき、「カブトムシのカブちゃんのことを忘れないよ。」と思いを寄せて、絵の具とコンテを使ってカブトムシの絵を描いて飾りました。しばらくして、飼育ケースの土の中に幼虫がいることが分ると、「幼虫の絵を描きたい。」と言い出しました。友達や先生と、カブトムシを飼育していたときのことをおしゃべりしながら、思い思いにクレパスを走らせ、絵の世界で遊ぶ子どもたちでした。心が動く体験と会話を通して「描きたい」気持ちが膨らみますね。



6匹の幼虫



大根の種をまきました!

目印の穴に3粒ずつ種を植えました。夏野菜の次は冬野菜の大根です。大根をどうやって食べようかと今から楽しみにしている子どもたちです。



秋の実りを収穫体験!

新潟市江南区にあるぶどう園へぶどう狩りに行ってきました。お店の方に「大きなぶどうを選んでね。」と声を掛けられ、子どもたちはあれこれ探しながら、自分が納得するぶどうをはさみで切って収穫しました。

園内ではバッタやカエルにも出会い、追いかけてみたり恐る恐るさわってみたりして小さな秋を満喫してきました。



9月の子どもたち



休み明け、まだまだ暑くて水遊びを楽しみました。



「かがくのとも8月号」で見た、クリームソーダを製作してカンパニー!



すこやかタイム(健康)で、飲み物の中の砂糖の量を知りました。



市之瀬幼稚園の友達と夏の終わりに採れたスイカで「スイカ割り」



こども創作館へ行ってきました。目新しい遊戯で思いっきり遊びました。



「絵本タイム」は、絵をよ〜く見ながらじっくりと耳を傾けました。



すこやかタイム(食育)で、旬の魚の話を楽しみました。



最後に収穫したオクラ・ナス・トマトで、ピザ作りに挑戦!